

平成 21 年度事業計画

1. 基本方針

平成 22 年 12 月の東北新幹線全線開業が目前に迫り、青森県全体として観光誘客に傾注している中、八戸市においてもこの全線開業を「第二の新幹線開業」と捉え、観光地として更なる誘客につなげるため、新たなステップに踏み込まなければならない。

今年度より(社)青森県観光連盟が関係団体の統合により新たな組織となり、各事業分野において組織強化が図られており、全線開業を契機として県全体として更なる連携が求められている。

当協会では、一昨年再編成された「企画」「組織強化」「行事検討」の三部会において、それぞれ積極的な活動により、会員の増強、名刺台紙の作製、仮称はちのへ検定など市制施行 80 周年である本年の一部具体化されているところであり、より一層の部会運営の活性化を図り、当協会の事業を充実させていく。

従来からの「えんぶり」「八戸三社大祭」といった重要無形民俗文化財等の運営、コンベンション誘致事業はもとより、観光結節地点としての立地条件を活かし、岩手県北も含めた観光関係諸団体との連絡を密にしながら更なる観光振興を図り、八戸地域の経済、文化の発展に寄与する。

2. 事業の概要

(1) 観光客及びコンベンションの誘致促進

① 旅行商品造成支援事業

旅行エージェントが企画する旅行商品へ八戸の観光コースを組み込むことを目的とし、パンフレット等作成費の一部負担を行い、誘客宣伝を図る。

② 大河ドラマ出演者三社大祭招聘事業

八戸三社大祭の知名度向上を図るため、NHK 大河ドラマ出演者の招聘を行う。

③ コンベンション開催支援事業

○ 学会等各種大会の開催は大きな経済普及効果が期待できることから、県や協会独自負担による開催助成金制度を実施する。

○ 国際ミーティングエキスポ(IME)への出展

④ 大型客船誘致事業

当市の豊富な港湾資源を活用した大型客船誘致による観光客誘致を市と連携して行う。

⑤ いわて平泉観光キャンペーンへの参画

平泉の世界遺産登録に向けて岩手県・JR 東日本で実施するキャンペーンにおいて八戸地域も含めた誘客宣伝を行う。

(2) **観光・コンベンション事業の調査研究、情報収集及び提供**

会員が相互に連携して、効果的な観光振興を図るため、観光及びコンベンション誘致に関する調査研究を実施するとともに、会員のために観光関連情報の収集及び提供を行う。

- ① 各種コンベンション関連情報の照会及び提供
- ② 『八戸観光会報』の発行
- ③ 観光戦略アドバイザーの活用

(3) **観光資源の開発と活用、観光関連施設の維持及び受入体制の整備**

多くの観光客に当市を訪れてもらい、かつ多くのリピーターを確保するなど、観光地の新たな魅力づくりのため、観光資源の開発や、観光客の受入体制整備を実施する。

- ① はちのへ総合観光プラザの管理運営
 - 八戸駅利用の観光客に対する八戸地域を中心とした青森県全体の観光情報の提供、外国人来訪者への案内業務を行う。
- ② 観光ボランティアガイドの育成
各種講座・セミナー開催によるガイドの育成、人材確保を図る。
- ③ 「八戸ツーリズム」開発事業(新規)
八戸市における着地型旅行商品の企画造成及び販売ができるよう、観光素材の発掘と第三種旅行業の登録を目指す。
- ④ 八戸フィルムコミッション設立・運営事業(新規)
映画やテレビ、雑誌等の取材やロケの誘致により、「八戸」の認知度を高め、当市に観光客を呼び込む。
- ⑤ 「朝市」「朝ぶろ」乗合タクシー「八戸あさぐる」の実施。
 - 八戸広域観光推進協議会との共催実施。
 - 実施期間 4月26日(日)～
 - タクシー会社4社による運行。
- ⑥ 観光バス等駐車場管理運営
種差芝生地に隣接した民有地を借り上げ、観光バス・一般乗用車の駐車場として確保する。
- ⑦ 種差海岸山野草群生地維持活用事業
プレイピア白浜敷地内の貴重な山野草類を保護するために下草刈り等を委託する。
- ⑧ 八戸三社大祭観覧席設置運営事業
合同運行経路上にパイプ椅子を設置し、観覧客の利便に供する。(2,000円/席)
- ⑨ 八戸三社大祭臨時駐車場運営事業
 - 長根運動公園敷地を借り上げ、三社大祭観覧者の利便に供す。
 - 大型バス2,000円、乗用車600円

(4) **郷土文化の保存育成**

八戸地域に古くから受け継がれてきた祭りや伝統芸能、伝説などの郷土文化は、当市の観光資源としても大変貴重なものであることから、それら郷土文化の保存育成に努める。

- ① 八戸三社大祭行事具補修支援
- ② えんぶり伝承師等の認定
- ③ 正調八戸小唄保存事業
- ④ 義経北行伝説説明板の維持管理

(5) **観光物産の宣伝紹介**

当市の魅力溢れる観光物産資源を広く全国に紹介するため、各種事業を展開し、一層の知名度向上に努める。

- ① 郷土芸能派遣事業
- ② 「八戸ふるさと検定」テキスト発行・運営事業(新規)
- ③ 写真集「Hachinohe City」観光 PR 事業(新規)
- ④ 市制施行 80 周年記念弁当発売事業(ローソン弁当との提携)
- ⑤ 三社大祭全国CATV衛星放送事業
- ⑥ ホームページ運営事業
- ⑦ 物産品等販売事業
- ⑧ 八戸三社大祭公式ガイドブック発行事業
- ⑨ 各種 PR 活動の実施

(6) **観光関連事業の従事者の接遇及び土産品の指導改善**

苦情等の情報共有システムの構築

(7) **観光諸行事の企画・実施**

当市に伝わる伝統的な祭り等の魅力を市民及び観光客に紹介するとともに、将来に受け継いで行くために、国の重要無形民俗文化財である八戸えんぶり、八戸三社大祭を開催するほか、市内各地で行われる祭りや行事の活動を側面から支援する。

- ① 根城さくら祭り(5月3日)
- ② 八戸三社大祭(7月31日～8月4日):三社大祭実行委員会
- ③ 史跡根城まつり(10月10日):史跡根城まつり運営委員会
- ④ 八戸えんぶり(2月17日～20):八戸地方えんぶり保存振興会
- ⑤ 各種フォトコンテスト等の実施(三社大祭・えんぶり)

⑥ 市内各地区で行われている伝統ある祭りや行事の活動を支援する。

名 称	時 期	主 催
蕪嶋まつり	4月19日	蕪嶋まつり実行委員会
種差観光まつり	7月上旬	種差観光まつり実行委員会
八戸七夕まつり	7月下旬	八戸商店街連盟七夕まつり実行委員会
八戸小唄流し踊り	7月下旬	東奥日報社
八戸花火大会	8月9日	八戸花火大会運営委員会
県南盆踊り大会	8月下旬	デーリー東北新聞社

⑦ 市制施行 80 周年八戸花火大会への参画(新規)

- 開催日 平成 21 年 8 月 9 日(日)
- 青年会議所、市、商工会議所、他関連団体とともに、花火大会の運営・実施をする。

(8) 事業者・関係団体との連絡調整

当市の観光振興を効果的に進めるため、市内各事業者及び関係団体、行政機関等との連絡調整を図る。

- ・青森県
- ・八戸市
- ・八戸商工会議所
- ・日本観光協会
- ・青森県観光連盟
- ・八戸広域観光推進協議会
- ・八戸市物産協会
- ・鮫観光協会
- ・種差観光協会
- ・南郷観光協会
- ・はちのへ観光誘客推進委員会
- ・八戸年中行事協賛会
- ・その他観光関係団体

合同会議の開催……………八戸市、八戸商工会議所、各観光協会等

(9) 公共施設の管理

市内にある観光関連の公共施設を管理運営し、観光客の受入体制の整備に努める。

- ① 史跡根城の広場の管理運営
- ② はちのへ総合観光プラザの管理運営

(10) その他の事業

上記(1)～(9)に掲げた事業のほか、協会の目的を達成するため、各種事業の展開を図る。

① 専門部会の運営

当協会が抱える直近の課題について、専門部会による効果的かつ具体的な解決方法を検討・実施し、当協会の円滑な事業運営を図る。

- 企画部会
- 組織強化部会
- 行事検討部会

② 室蘭・八戸観光交流事業

昭和 54 年に設立された室八観光連絡協議会事業として、家庭婦人バレーボール等、観光 PR と物産の交流販売を行う。(航路の閉鎖等、事業の見直し含め、今後のあり方を検討する)

③ バス乗車券の販売業務(八戸市交通部、南部バス、十和田観光電鉄)により、市民及び観光客のバス利用者への便宜を図る。

④ 史跡根城の広場自動販売機設置事業

⑤ 市内観光関連団体との連携強化

当協会が八戸地域全体の観光振興を図る組織として活動を強化していくために、鯨観光協会、種差観光協会、南郷観光協会との連携強化のための方策について検討する。

⑥ 会員優待事業の実施

会員に対する優待事業として、下記の事業を実施し、当協会の会員増加を図る。

- 画像データ等の貸出
- 旅行会社やマスコミへのPR活動支援
- 二大まつりポスター配布等

⑦ 事務局職員の研修・講習の受講

⑧ 協会事業の見直し

当協会が所管する団体の統合等検討を進め、事務事業の軽減及び組織体制の充実、新規事業についての検討を図る。